

令和3年度

日本骨髄バンク中四国ブロック会議 併催

造血幹細胞移植推進拠点病院 中四国ブロックセミナー

開催日

令和4年

2/12 土

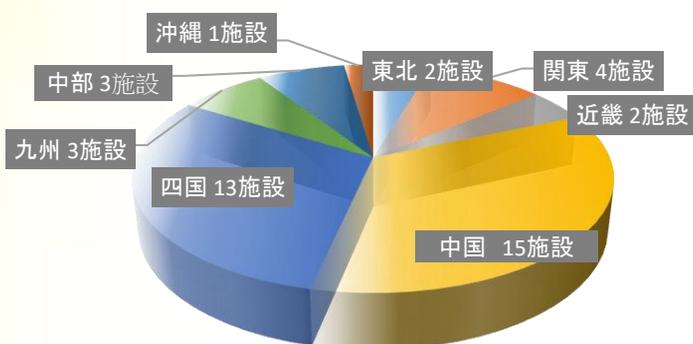
12時30分～15時10分

開催方法：Webexによるオンライン開催

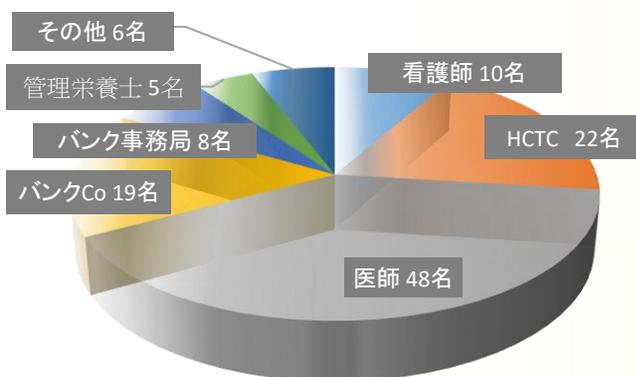
参加者：118名 参加施設：43施設

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
オンライン開催となりましたがブロックを超えて
多数の方々にご参加していただくことができました。

参加施設



参加職種



第一部 骨髄バンクブロック会議

日本骨髄バンク 小寺良尚理事長から『骨髄バンクの現状報告』と題して、骨髄バンクの現状・課題と課題への取り組みを報告して頂きました。

また、愛媛県立中央病院 名和由一郎から『ドナー安全委員会報告』、岡山大学病院 藤井伸治先生から『委員会報告』と題して、其々新型コロナウイルス感染症への対応や2020年度の事例報告、今年度発出した安全情報やドナーのNGS-SBT法検査実施の推奨などのお話を伺いました。

今後骨髄バンクを介した移植を検討する際に、大変有効な情報を得ることができました。

参加者からの声～アンケート結果から～

- ・ 骨髄バンクの取り組みには頭が下がります。
ドナー登録の拡大、患者さんの移植実施までの期間短縮のためにご尽力されている事に本当に感謝しかありません。
- ・ 「コーディネート期間短縮」と「患者の希望に応じた採取調整」について、丁寧に安全に進めていく必要があることを再認識しました。
- ・ 沢山のリスクがある中で、提供してくれるドナーの安全を守れるように、医療者間で連携していく必要があると思いました。
- ・ 移植施設としての立場で、身の引き締まる内容でした。



第二部 中四国ブロックセミナー

大阪市立大学の日野雅之先生に、ドナー安全講習『骨髄バンクドナーの有害事象～具体的な事例から安全な採取を考える～』と題してお話頂きました。具体例を交えた分かりやすい説明で、骨髄バンクドナーからの安全な幹細胞採取に役立つ情報を皆で学ぶことができました。

参加者からの声～アンケート結果から～

- ・ 事例を通じて知識のbrush upができました。
- ・ とても興味深かったです。
ドナーさんの安全な採取に向けて、当院でも改善できるところを検討していきたいと思います。
- ・ 有害事情を良く理解してドナーの安全、しいてはレシピエントの移植に採取要因で影響を与えないように活動していきたく思います。
- ・ 実症例の提示があり、わかりやすかったです。
今後の方向についてのディスカッションも有意義でした。
- ・ 若年者のドナー登録を増やすためにも、避けられる有害事象を出さない責務をより重く感じました。
- ・ バンクからのお知らせで読むことしかできなかった事例も、具体的に説明していただき助かりました。

講師を務めていただいた先生方、
参加していただいた皆様、ありがとうございました。

次回のセミナーも、ご都合がよろしければご参加いただけますと幸いです。

愛媛県立中央病院

